



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・ドローンの飛行性能を安全に評価・検査できる「ドローンアナライザー」を、産業科学技術センターと県内企業で共同開発し、製品化1号機を福島ロボットテストフィールドに導入した。
②	・自動車関連産業では、次世代自動車産業関係セミナーや試作補助、外国人材調査などを実施した。 ・半導体関連産業では、研究開発やコロナ禍における販路開拓体制構築への補助に加え、Webを活用した海外との商談会実施等の支援を行った。 ・食品関連産業では、商品開発や人材育成支援のほか、HACCP講習による品質管理の高度化を支援した。
③	・大分県医療ロボット・機器産業協議会では、県内企業による新型コロナウイルス感染症対策機器等の開発支援や、医療機関・介護施設を対象とした県内企業の感染症対策機器等を紹介する見本市を開催した。 ・大分県エネルギー産業企業会の活動を通し、水素の地産地消に関する研究開発や地域課題の解決や地方創生につながるエコエネルギー導入の支援等を行った。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	ドローン産業振興事業	97.2	218
②	食品産業需要適応支援事業	340.0	230
	おおいたLSIクラスター構想推進事業	66.7	230
③	自動車関連産業企業力向上事業	100.0	231
	医療機器産業参入加速化事業	84.8	232
	エネルギー関連産業成長促進事業	93.3	232

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県新エネルギービジョン推進会議(R2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電事業は他県ではまだ導入量が伸びているようだが、大分は少し伸びが小さくなっている。</li> <li>・水素に関しては、県内で実施されている大型プロジェクトに県内企業ももっと関わっていくべき。</li> </ul>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車・自動車関連産業については、地場企業のQCD(Quality・Cost・Delivery)向上の継続支援の他、次世代自動車関連産業参入に向けた若手経営者への働きかけ、外国人材雇用企業向け支援などを行う。</li> <li>・半導体関連産業については、国際学会への参加・ブース出展による情報収集・発信に取り組むなど、新しい分野・市場への進出やトップシェア獲得に向けチャレンジする地場企業に対し、研究開発・販路開拓・人材育成の面から支援を行う。</li> <li>・食品産業については、大規模展示会の出展機会の拡大やHACCPに基づく衛生管理の導入促進など、県内食品産業のマーケットニーズへの適応を支援していく。</li> <li>・医療・介護・福祉機器等については、大分大学医学部附属臨床医工学センターや医療・看護・介護・福祉従事者と企業との連携を支援すると共に、医療機器等販売ディーラーとの交流を積極的に行い、市場を見据えた機器開発・販路拡大の支援に努める。</li> <li>・地熱・温泉熱や小水力等本県の強みを活かしながら、引き続き県内におけるエコエネルギーの導入及び水素等の新エネルギーに関する研究開発を支援していく。</li> </ul>